

2021



緑小だより 2号

令和3年5月

清川村立緑小学校

児童数 116人

家庭数 86戸

風薫る5月

校長 船津 慎一

1学期が始まって1ヶ月。コロナウイルス感染拡大防止対策をしながらの毎日ですが、子どもたちは毎朝、大きな声であいさつしながら元気に登校しています。先月は3・4年生の小田原方面の遠足、授業参観・懇談会、PTA総会とこれまで計画してきた行事を行うことができ、その喜びを感じています。先日実施しました合同引き渡し訓練にも多くの保護者の皆様にご協力をいただき、無事終わることができました。ありがとうございました。大きな災害があっては困りますが、万が一に備えておかなければと改めて思うところです。この機会にご家庭でも災害時の対応について、ご家族でお話をされておかれるとよいと思います。

さて、初夏を思わせる陽気となり、今年も村の特産物のお茶が鮮やかな緑の新芽を芽吹かせています。4年生は総合的な学習の時間で清川村について調べる学習に取り組んでいます。その中で、まずは学校の周りにも、通学路にもある身近なお茶畑からということで、お茶をどのように作るのかを調べる学習を始めました。とは言え、子どもたちはどのように茶葉が収穫されて、どこで加工されるのかは見当がつかないようなので、実際に見学したいということになりましたが、その手立ても見いだせない状況でした。

そのような中、地域のことを相談するならということで、昨年立ち上がった緑中学校区学校運営協議会の会長に相談をしました。すると、早速、お茶の収穫の様子を見学させていただける方を紹介していただき、併せてお茶工場「チャピュア」の見学もさせていただけることになりました。今年は気候がよくお茶の生育も早いということで、相談してから間もなく見学が実現しました。子どもたちは「お茶摘みを初めて見た」「お茶工場に初めて入った」と身近にありながら詳しくは知らなかったということもあり、少し興奮した様子で見学し、この後の学習にもさらに意欲をもったようでした。子どもたちは、このお茶から始めた学習をとおして、より深く村について調べていくことが「ふるさと清川村」を肌で感じていくことにつながると思います。

今年度は感染予防に心がけながらも、昨年度以上に地域に出かけて学習を進めていきたいと思っています。緑小学校はコミュニティ・スクールとして、地域の皆様と協働して子どもたちの成長を促していきたいと思っています。改訂された指導要領に則って行う本校の教育課程に、地域の方で学校と一緒に活動ができるという方がいらっしゃいましたら、コロナ禍ではありますが、是非、学校運営協議会に情報をいただければと思います。さらに、地域コーディネーターや地域学校協働本部という地域と学校をむすぶ場ができる子どもたちのより豊かな育ちにつながると思いますので、今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



避難訓練・引き渡し訓練

5月6日に引き渡し訓練を行いました。

「おかしもち」の約束を守って避難し、静かにお話を聞くことができました。ご協力ありがとうございました。



4年生 総合的な学習「清川環境について考えよう」

お茶摘み見学



チャピュア工場見学



見学へのご協力、ありがとうございました。